

開講学科	生物工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	バイオ技術英語 II	標準対象年次	選択/必修		科目コード
		3年次	必修		17103601
担当教員	生物工学科全教員	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期		集中
授業の教育目的・目標	バイオ関連の企業や機関で活躍できる科学技術者を養成するために必要となる生物工学の各研究分野で使われる専門用語やその内容の理解、また技術英語能力の獲得を、関連するテキストや研究論文等を通じて教授することを目的としている。実用英語能力のさらなる向上も目的とする。				
学科の学習・教育目標との関係	4年次の卒業研究の前段階として、卒業研究を実施する研究室において、関連する専門知識の習得するための専門用語やその基礎知識、技術英語を、本講義を通じて習得させる。実用英語能力の向上のための TOEIC ソフトのさらなる自習も課す。				
キーワード	バイオテクノロジー、食品製造、食品機能性、食品栄養素、環境計測、生化学、タンパク質化学、微生物、分子生物学、植物代謝工学、植物生理学、植物分子育種、天然物化学、動物実験、生理学、TOEIC				
授業の概要	各教員の指示するに論文やテキストを精読して、専門用語やその内容、技術英語を覚えると共に、その内容についての理解を深める。また TOEIC ソフトの自習を課す。				
授業の計画	<p>3年次後期に実施される授業以外で、卒業研究着手要件が満たされている学生は、4年次の卒業研究の準備、前段階として各教員研究室に配属され、各指導教員の指示に基づき、本講義を受講する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導教員の指導のもと、専門分野の論文やテキストを選定する。 2. 選定した論文やテキストを精読する。 3. 関連する分野の専門用語を習得するとともに、バイオ技術分野の英語能力を身に付ける。 4. 精読した論文やテキストの内容をまとめる。 5. 論文やテキストをもとに研究室内で発表・討議を行い、指導教員からの解説も受けながら、当該分野への理解をより深める。 				
受講条件・関連科目	関連科目：バイオ技術英語 I				
授業方法	事前にあるいは講義時に担当教員から指定・配付された論文やテキストを精読し、授業時に内容の紹介、質疑応答、議論を行なうことで進める。また、専門用語やその内容については、担当教員より適宜解説を行う。TOEIC については ALC-NetAcademy の自習を課す。				
テキスト・参考書	各担当教員より資料の配付やテキストの指示が行われる。また ALC-NetAcademy を自習する。				
成績評価	発表、レポート、ALC-NetAcademy の自習状況等を総合的に評価する。採点基準は、S:90点以上、A:80点以上90点未満、B:70点以上80点未満、C:60点以上70点未満、D:60点未満とし、S、A、B、Cは合格、Dは不合格とする。				
履修上の注意	全回出席すること。受講態度も考慮する。 ALC-NetAcademy については、自習すべきコース、時間等を指定する。				